日分の世界

四人四様の展開

する英和対訳のハンドブックがほしいということで、私もプ れしかったんですよ。そもそものきっかけは、 ンを前に満室になった日に、本が出来上がり、 百瀬 記者 いう題で一般にも市販されました。 に当時勤めていた製鉄会社で海外業務がふえて、日本を説明 分厚い歴史事典をおまとめになったそうですが ロジェクトに参加してつくったのです。 おいでいただきました。 今日 ちょうど、今の会社の最初の老人ホームが、 は各々ユニークな世界をもっていらっしゃる方 百瀬さんは昨年 四年後に『日本』と 私は二重にう 十五年ほど前 お勤め オー の傍ら

で、よく覚えています。

校時代にアメリカに留学した時に、全員に持たせてやったの

あれはよい本でしたね。私の四人の子どもたちも高



記

大島さんは全国友の会で行なっている家計

調

查

4

少年の頃から何十回も通っている上高地からの穂高連峯だが、大学二年の秋、西 憩から奥穂へ縦走して雪に降られ大いに難渋したあと、描いた。

をとりました。 は ようと思い 休 出 て尊敬して |版社がつけたのでちょっと面映い 以後ずっとど指導いただきました。 度と実態をまとめることにしました。 日本の統治機構、 紹介状もなしで伺ったの 日を利用 立ったのです。 いた日本近代史の 二年程で五〇〇枚くらいにまとまり、 法制、 文献に当たり、 昭 行政、 和 にとても親切に応待して下さ 0 戦 伊藤隆先生をお訪 軍 前 専門 事 の時代までさか 書を読んでノ 「事典」 ちょうど始っ 植民地など とい ね 著書 した 0 1 5 ぼ 0 を 1 た 0

た 何に は二 なっ K 婦 何をして、 時間と労力をかけていた集計が、 応用技術を身 は引き受けてくれない。 3 0 何分と分類集計する、 0 家族構成別に、 会員が 年半前のことです。 生活時間調 たと喜ばれてい U はじめてコンピュ グラ と詳細に 週 K 間、 ムは当初、 5 けられ、 の集計のために、 家事、 記 ますね。 何時に起きて L た約二万人分の 生活時間 1 私は係だったので、そのことを家 業者に頼むつもりでしたが 非常に複雑な統計なんです。 家族のため、 それまでそろばんに ター 何時 調 で集計 たちどころに出せるように 独学でコンピ 2 K 寝 身の廻 記録を、 いらのは、 することに りのこと等、 頼 何 家庭の年代 時 2 5 何 五. な て大変な 1 分 年 5 女 そ 簡 か K た 1 単 0 6 0 0

すが、 ません。 していくという数カ月でした。講習会にでも行けばもう少し こそなめるようにみながら、 ど予備知識ゼロの状態から、 とってきたのです。 です。ところが参考書を読んでいるうちに、 ら好きでついその一年程前にパソコンを手に入れてい トがいい、と早速、 フトについてきた分厚いマニュアルだけを頼りに、 (笑)、できないこともないかも知れない、 そういう集計なら「ロータス1ー 今考えれば、全く無謀なと思うようですが、 大学では西洋史が専攻で理数系というわけではあり もともと理数系がお好きだったのですか。 初歩の参考書を一冊買ってきてくれたの 指導を受ける人もなく、 つ一つの機能を自分のものに 2-3」というソフ 血がさわぐとい という気が起 ただた ほとん たので それ



で話題にすると、

高校生だった息子が、

彼は小学生

0

ころか

中嶋嶺雄氏

1936年生。東京外国語大学教授。 国際関係論・中国学。バイオリン はプロともよく合奏。評論集『北 京烈々』でサントリー学芸賞受賞。 近、絵入り随筆集を上梓。

村崎 では、 ているかのような中学生のおかれた大へんな状況に気づかさ 差値だけで高校が決まる、 たときに、二男の受験というものにつきあたったんです。 常の中で育児期を過ぎて、二人の子どもから頭がはなれ ついての本を書き、教育問題にも発言して来られ のデータ入力を分担して頂くこともできました。 の会の中に数人のスタッフが育ちましたし、今年の家計集計 ーターにのせることに関わってきました。 およびアンケート、共同購入の売上事務など次々にコンピュ も知りませんでした。 楽に習得できたかもしれませんが、 大阪、名古屋、 私が教育問題にのめり込んだきっかけは、忙し 村崎さんは、息子さんの高校受験から、 横浜などの友の会で約四、 引きつづき一万二千人分の家計報告、 子どもの将来がその一点にかか そういう教室の 今では東京第 受験体制 ましたね。 六〇〇人分 あること T 5 5 日 K 偏 V

大島信子さん

1941年生。東京第一友の会員。独 学で表計算ソフトをマスター、全 国友の会生活時間調べ、家計調査 等の集計に活躍。現在阿ソフトの インストラクター。



村崎芙蓉子さん

1935年生。循環内科医。新宿三井 ビルクリニック勤務。第14期中央 教育審議会委員。著書『カイワレ 族の偏差値日記』『ことろに 赤い 聴齢器』。息子は社会人と大学生。

思い 私は、 視界 何 で働いてい n 族 らに子どもを偏差値 たので、 か b て、 苦労したか さ が て終わったとき、 お 为 0 が が身に 生活で 偏差 恥ず 明るくなったみたいに、子どもを追い こと子どもに か 猛然とわいてきたんです。 値 て もう本当に か S 辛か 2 0 H しみて、 L 世間 いが わず 記 思 な V 5 が かか 関しては全く見えなくなってしまって。 あ 始 たけ という本を書かせ は見ているつもりの人間でありながら、 6 あ 驚 現 23 な合間をさい ちょうどサングラスをはずしてパ 競争に追い立ててしまったのです。 5 れど、 在 た時 たと思いました。 0 V 悪夢 てしまって、 の教育につい 期だっ の日 ちょうどみんなが今の教育を その たので、 て書くことは、 K た は N 思 われを失い、 て充分な知 何 だと思い Va だ 大きな つめてい が 2 たん 私 K 反響 ます。 だ 識 ただごと が 力 2 5 が ッと た恐 1 な 办 あ 医 7 5 か

> Ch K

化的 家が 中嶋 お仕 ら落と きません。 なっ まあ、 けませんでした。 者 事 語 な雰囲気があっ る場 も大へん多忙でいらっ しに演奏なさっ てしまっ 趣味を語るに サ 私は松本で育 鳴先生 面 1 が たん あ リー り 0 たと思 0 バ 水 たほどだし、 は、 す。 私 1 1 は二千 オ 2 ル す たのです 育 は、 V IJ ます。 5 しゃるの 2 5 オー た環 は か b 0 親父は、 聴 プ 絵 が あ サ 境 ニン 衆 \$ ン K が K 幼 0 お 1 3 5 て 前 描 グ IJ 5 n きに 町 頃 しまってうまく で 記 1 な 自ら 0 か 念 水 S 中 6 わ VC なられる、 1 周 弾 音 ル 6 け 楽愛 薬 囲 0 K とけ 局 K は

記

リン 経営してまし としてかなりレ 先生で、 の先生は、 終戦後の たが、 能 ル 何 教 0 同 もな 育 高 時 K 0 V 方 5 俳人であって、 頃、 鈴 々と交流が 木メソッ 松本音楽院 F あり S をつくら で有名な鈴 ました。 わ ば 地方文化 バ 1 私 鎮 文 オ



百瀬 孝氏

1938年生。有料老人ホーム・KK サンビナス社長。新日鉄社員時代 に『日本―その姿と心』 編集に携 わる。著書『事典・昭和戦前期の 日本一制度と実能』

が家に来られたりしました。
ともあります。歌人の若山喜志子さん(牧水夫人)もよくわこともあります。歌人の若山喜志子さん(牧水夫人)もよくわはその第一期生です。絵の方は、一水会系の人が多く出入り

と頼んだことも覚えています。電気蓄音機というものが出始 けず、債権者に頭を下げてぜひ勉強だけは続けさせてほし が、かなり大きな薬局経営をしていたわが家が倒産し、全て です。そうした中で、 めた頃で、冬、薬売りのアルバイトをしたお金で買ってもら の時のショックは大きかったですね。しばらくは学校にも行 の財産を置いて、親子三人裏口からすごすご家を去った、 まだ若い多感な少年時代にみてしまったわけです。 いた、その電蓄もレコードも全て持って行かれてしまったん い、好きなチャイコフスキーの「悲愴」なんかをよくかけて しかし、高校一年のとき、 人間の暖かさとは逆の、 忘れもしない文化の日 心の裏面 0 L そ た V

なるほど別の世界を求める気持ちが強くなり、最近では、多登り始めたり、バイオリンや絵の方も、仕事が忙しくなればられたら、高校、大学の山岳部以来の北アルプスに再び時期が続きました。それが、年齢なんでしょうかね(笑)、一時期が続きました。それが、年齢なんでしょうかね(笑)、一時期が続きました。それが、年齢なんでしょうかね(笑)、一時期が続きました。それが、年齢なんでしょうかね(笑)、一時期が続きました。それが、年齢なんでしょうかね(笑)、やるほど別の世界を求める気持ちが強くなり、最近では、多なるほど別の世界を求める気持ちが強くなり、最近では、多なるほど別の世界を求める気持ちが強くなり、最近では、多なるほど別の世界を求める気持ちが強くなり、最近では、多なるほど別の世界を求める気持ちが強くなり、最近では、多なるほど別の世界を求める気持ちが強くなり、最近では、多なるほど別の世界を求める気持ちが強くなり、最近では、多なるほど別の世界を求める気持ちが強くなり、最近では、多なないでは、

代な時間をやりくりして別世界に沈潜する時間を意識して確保しています。音楽評論家の丹羽正明さんも加わっている音楽文化同好会という政・財・官・学界人の集まりがあり、いつもはプロを呼んで演奏を聴くのですが、ときには趣味のものをということで、私がチーフになって室内楽の夕をやったこともあります。丁度、北京に戒厳令が出た日で、帰宅すると新聞やテレビの取材攻勢にあって大変でした。と新聞やテレビの取材攻勢にあって大変でした。と新聞やテレビの取材攻勢にあって大変でした。とお聞やテレビの取材攻勢にあって大変でした。とお問かが、子ども四人がそれぞれ楽器をやりますので、とき家でも、子ども四人がそれぞれ楽器をやりますのが大変といれた。

没頭する時期も

った有様です。

村崎――私は興味をもつ対象がありすぎて、本棚が一杯にない。一杯は見てきて頭がフラフラになりました。コーラスもたて続けに見てきて頭がフラフラになりました。コーラスもたて続けに見てきて頭がフラフラになりました。コーラスもた好き。海外旅行でエジプトに行き、すっかり好きになって大好き。海外旅行でエジプトに行き、すっかり好きになって大好き。海外旅行でエジプトに行き、すっかり好きになって大好き。海外旅行でエジプトに行き、すっかり好きになって大好き。海外旅行でエジプトに行き、すっかり好きによって、本棚が一杯にないがあります。

た勉強はしませんでし

たが、

一寺公と政局』

『原敬日記』

などずっと読んでいました。 通勤の二時間を利用して、

ただ、

メモをとってい

0

記憶がずいぶん役にたちましたね。

百瀬

私は歴史には以前から興味がありまして、

系統だ

0

-

西

らイスラエルにまで足をのばしてしまって。 なのね。 もどんどん広がってきて、おととしはとうとうシナイ半 てしまいました。 読めば、 また興味が時代的にも地 ちょっと凝 域的 b 島 性 か K

大島 だからかなと思います。 度社内で実習し、次は中級へ、さらに進める人が上級 ロというプログラムを組めるまでには至らない。 を受けるのですが、そこまで進んでも、 人々が、まず初級の二日間コースをみっちり受けて、ある程 て、私は今、インストラクターという立場で、大勢の人と接 しています。 一二年半、 企業から 7 ンピュ 相当な時間と費用をかけて派遣され ーターと無我夢中でとりく なかなか やはり受身 一人でマク んでき 1 ス た

う私の最初の仕事は、 ンスに恵まれたのだと思います。 きで与えられ、 でとにかくものにできたというのは、そういう教材 今になってみると、主婦 数十倍の高度のものだったと思います。 責任 をもたされ 実は質量ともに、 の生活 たからで、 時 間調べの集計 中·上級 めっ それが たに を出すとい コ が期 な 1 手さぐり スの数 S 限 チ + 0

> に入り、 ない 出来ないので、手書きでノートをとりましたが、その場 もそこまではできませんでしたけれど、 にいえば、 れ とはありました。 て、多くのことが確認できましたし、 会社があるから、 い、とくに行政のあたりはかなり細かく調べました。 にかけたときの手書きの原稿にさかのぼるわけですね。 ばいけない、 ので、どとに書いてあったのか思い 公文書館、外交史料館など、ずい かえってよかったと思います。 法律は制定時 と伊藤先生のご指導で、 土曜日の午前しかないんですよ。 歴史を調 の官報をみるとか、 べるなら第一次史料に当たら ふつうの本には出 第一次史料にあた 出せなくて困 全体の三分の一くら 分通いました。 国会図書 憲法なら枢密院 館の憲政 コピ 平日 5 とて たと て来 で 1 な 0

中が真っ白になるような経験をしまし のことばかり。 るとそれを解くのに、道を歩いていても ら性分ですが、 命』というような悲壮な感じでした。 大島――今回コンピュ で籐細工やステンシル、 周りの景色も人の顔も全く目 初めの半 ーターにとりついた時 年 洋裁などをはじめると熱中してしま から一年位は、 もともと手仕 頭 は 一つ に入らず、 コ は 一問題 ンピュ "これ をか 事 1 一つ から ター かえ 頭 好 が

ない発見もあり、この本にも書きまし

た。

と脅迫観念みたいなものにとりつかれてしまい、すべてに目 カイワレ 族の偏差値日記』を書い た時 は

きか、 門家の門をたたくことも必要だと思います。 記者――たとえ趣味であっても、ある時期、 年の仕事ですから、しゃきっと切り換えますけれども もワープロの画面 らですね。ピアノでもバイオリンでもある一定の練習を終え 乗り越えれば外国語も自然と口をついてでてくるし、コミュ り苦労して取り組まないと本物にはなりませんね。 が何も思い浮かばないほどでした。診療所に着くとこれは長 団に寝て、目が覚めるとまた打ち始めてという連続でしたか ープロを打って眠くなったら毛布にくるまって机の下の座 を頂いたおかげで、飛躍できたと思うんです。勇を鼓して専 やはり限界があって、 そこまでの過程で脱落しないことが大事なんですね。 て壁を越えれば、合奏したり、交徹する醍醐味も味わえる。 ニケーションもできておもしろさがわかってくる。音楽もそ までは徹底的にトレーニングが必要でしょう。一つ一つ壁を をつぶって没頭、一年間位ベッドの上で寝ませんでした。 健康も損ないましたね。 ――ただ楽しむだけなら自己流でもいいでしょうけど、 ―それはそうです。 こうすべきかと考えて、スーパーに入っても買うもの 私も今回、 が頭にあって、あそこの文章はああするべ あるレベル以上にはなかなか成長でき ある程度積み上げてきた段階でど指導 外国語と同じで。 歩いていても電車に乗っていて ある一定の段階 かなり没頭した ワ 布

割り切れない女性の立場

記者――本業の他のことを本格的になさりながら、ご自分の 野張が多いから、趣味の世界の時には楽に、こう、リラック 緊張が多いから、趣味の世界の時には楽に、こう、リラック いるときにはあまりにも ないるときにはあまりにも

村崎 使わなければならない。私は、それが苦手でね。今でとそ長 が主婦業というのは、 たい。研究なら明けても暮れても研究に没頭したい。 切りかえがものすでく下手で、だからこんな私になっている しく趣味を扱ってらっしゃる方はうらやましい。私は時間 も前には遅くまでやっている店はなかったから。 来ますけれど、医者になりたての頃に主婦も開始したので大 年の訓練で、日常の家事くらいは他のことを考えていても出 の、という感じでね よいから男の頭になってみたいと思ったものよ。家のことを なるとどんどん選択の数が減ってくるわけですよ。私、一度で ね、あそこのスーパー何時まで開いているかとかね、三十年 へんでした。仕事の途中でも、 本業はこれ、 (笑)、本当は一つのことをかためてやり 掃除、 趣味はとれ、 炊事、洗濯と、 フッと今夜何を作ろうかとか と上手に切りかえて、楽 時間を細切れ 帰りが遅く

何も考えずにいられる頭って、一体どんなものかと思って。

児すべて私がかぶってね。 優しすぎたというところかな。 が二人で沈没するわけにもい いる。 5 タート ので、 私の方は所帯に追われて、 ラインは同じだったけれど、 大学をやめて診療所の勤務医になったんです。 夫は精神科の医者で、 か ず、 同い年なんです。二人ともス わずらわしいことは家事、 没頭型なのにそれが出 彼は医学部教授になって 相手の足をひっぱるには

逆に年上なら、何かそれにかこつけて自分を納得させること私の中でくすぶり続けていましたね。夫がもっと年下とか、しかし、なぜ、私がかぶるんだろう、というのが、ずっと

えて す。 後をどんどん豊かにしてくれているみた は成立しなかったかも ことが出来ました。 文を書いたりしたことで、 ら視点で社会を見る訓練も出来たし、 って何よ、 と豊かな人生を味わったことでしょう。 しか出来なくなってしまっ が引受けてあげたのに、 きくなっ も出来たと思うの。 社会は女に理不尽だとしっかり思い V たけれど、 たのね。 ってずーっと考えつづけていましたから、 ところが今になってみると、 今はもう損をして得を取っ 私があの時 なまじ同い年同士だったので、 しれませ かけた情があだになって、 医者以外のいろんな人と知り合う た (笑)。 ん。 K それにひきかえ、 家庭の犠 研究医に徹すれば、 そういう発言をしたり つづ 男って 50 性に けたととが、 たとい 雑事 何 なっ なんだ、 不満も大 彼は医 ら感じで は全部 そうい 私は たと考 家庭 何 私

中嶋――僕ら夫婦は六〇年安保の世代で、学生運動の仲間同

かんの予防と治療の現状を分かりやすく紹介 国立がんセンター監修 信濃毎日新聞社編

Beatinog 定価IOOO円 ががんの予防と先端治療の 現状を分かりやすく語る。 また、告知や「生命の質」を また、告知や「生命の質」を また、告知や「生命の質」を また、告知や「生命の質」を また、告知や「生命の質」を また、告知や「生命の質」を また、告知や「生命の質」を また、告知や「生命の質」を また、告知や「生命の質」を



岩波書店東京・千代田・一ツ橋(定領は根込)

上で結婚したのですけれど、頭では夫婦は平等、女性は自立士で結婚したのですけれど、頭では夫婦は平等、女性は自立とないです(笑)。意識の上で分かっていても、感性のレベスのみたいです(笑)。意識の上で分かっていても、感性のレベスのみたいです(笑)。意識の上で分かっていても、感性のレベスのみたいです(笑)。意識の上で分かっていても、感性のレベスのみたいです(笑)。意識の上で分かっていても、感性のレベスのですだまだなのかもしれない。

大島――今まで専業主婦で、転勤の多い夫について各地をまた島――今まで専業主婦で、転勤の多い夫について各地をまが減ってくることに対して、夫の対応は遅れ遅れですね。こが減ってくることに対して、夫の対応は遅れ遅れですね。こがは一気に割り切ってさせてもらおうなどと思っているのら先は一気に割り切ってさせてもらおうなどと思っているのですが、夫はワンテンポずつずれながら、了解の幅を広げさですが、夫はワンテンポずつずれながら、了解の幅を広げさせられているという感じです。

を通じてまた世界が広がっているようです。も、妻はそれで一つの多面的な世界をつくっているし、彼らはわが子を含めて七人、まるで寮母のようだとい い な が らしじゅう外国の学生たちがホームステイをしていて、この夏中嶋――妻は妻で自分の世界を持っているように思います。

始めるのは いつからでも

もは出来ないのだから一つのことに入れこもうという気持でますが、自分の習熟度が世の中に通用するかどうか、チャレンジしてみようと思ったときの集中度は、受験勉強や卒論の短とは比べものにならないほど高く、又、意識も 違い ました。若い頃はあれもこれもと目移りがして、じっくり腰が落た。若い頃はあれもこれもと目移りがして、じっくり腰が落ちつかなかったという感じですが、今は開き直って、何もかちつかなかったという感じですが、今は開き直って、何もかちつかなかったという感じですが、今は開き直って、河もかという気持で

のほうがよっぽど上手に時間を使ってましたね。れでいろんなことができると思ったら、それまで時間に追われて、新聞をぱーっと読んでいたのが、モーニングショー見ながら午前中一杯かけて読み、やれお昼のニュースだ、三時の芸能番組だと、テレビばかり見て何もできない。忙しい時のほうがよっぽど上手に時間を使ってましたね。と村崎――私は今年、外来診療日を一日減らしたんですよ。と村崎――私は今年、外来診療日を一日減らしたんですよ。と

取り組めますね。

私、手紙や葉書をよく書くんですが、カードの絵柄と切手をに持ち帰ったのに、一枚も書けない。結局、また仕事場にせかせかと書くので、葉書や切手のセットが診療所に置いてせかせかと書くので、葉書や切手のセットが診療所に置いてせかせかと書くので、葉書や切手のセットが診療所に置いてもったんです。今年から家にいる日が増えたからと、全部自宅に持ち帰ったのに、一枚も書けない。結局、また仕事場に持っていきました。

中嶋――たしかに忙しい時のほうが、いろいろ出来ますし、

ね。 集中度も高 なりたい でも作家になりたいとか、絵かきになりたいとか、音楽家に すぎるほどの時間が残されるようになっ て大切な問題ですし、 もたちが成長して手が離れたあとはどうするか、 をもって生きるかということも大事になってくるわけ 人生が長くなったわけですから、その一生をどんな目的意識 ら与えられた二十 自分の生涯の、ある時は子育てに集中する、だけど子ど 2 か夢 何やっても意外にうまくいきますね。 が 四時間をどう使うかということと同 あ 5 男性にとっては、 た わ けだから、 2 定年退職の後に充分 た。 の時点でもう一度素 若いとろには誰 女性にとっ 時に、 そらい です

開催近づくー

競者による創作工芸展

■自然からの感動をかたちに■

うことが私の課題です。

ところ 東京・目白・自由学園明日館と き 1991年 10月18・19・20日

みなさま、お誘い合わせお出かけ下さい

ればい

V

のだから。主婦であれ、職業人であれ、

記者――若い時いろんな種をまいておくと、再スター直にその夢を追ってみたらいいと思うんですよ。

が容

易に 大島 村崎 す。 りますが、年齢を重ねてなお、 若いときにすることと、 分深くやったつもりですが、今から他の領域に範囲を広げる 目的を達成した親愛の情と喜びがもてるのはられしいことで K が、一、二時間もすると、信頼感を持ってもらえる 受講生も最初、 でさえ遅れ遅れになる傾向は否めないのです。 には難しい。受講する人も四十歳すぎると、二日間 なりますね でも日進月歩の世界で、 難度の高 思い切っていろいろやってみることです コンピューターは圧倒的に若い人の職種でしょう。 い上級コースを終わる頃には、 "えつい 年齢を加えてからのことと違い この人が先生? 私も一つのソフトについては随 どこから世界を広げるかとい という顔をするの お互いに一つ やはり自ずと のコー があ 0 ス

5 何歳で始めてもいいと思うんですよ。 たとか。それで結構のびる人がいますね。 絵をやりはじめるとか、 僕の知っている範囲でも、 結 婚と同じね。 やりたいときが 若い頃やったピアノを再び始め 意外と五十歳 番 だから何によらず 0 適齢 過 期 ぎ と考え 7 办

な

かれ

た立

しいんじゃないですか。
るのもいいと思うな。むしろそういうもののない人生がおかるのもいいと思うな。むしろそういうもののない人生がおかする努力は必要ね。もちろん、一八〇度違う世界を持ってい場に甘んじるのでなく、その立場をさらに深めたり広げたり

百瀬――私もサラリーマン生活を何十年やって来て、大勢のひとと出会いましたけれど、本業以外にいろいろ蓄積をもっている人は多いですよ。よく会社人間なんていわれるけれている人は多いですよ。よく会社人間なんていわれるけれて、知らないだけじゃないかという気もします。ただ私はり、知らないだけじゃないかという気もします。ただ私はり、知らないだけじゃないかという気もします。ただ私はり、知らないだけじゃないかという気もします。ただ私はり、知らないだけじゃないかという気もします。 親類縁者に配ったって自己満足だけですからね。買ってされる人が少数でもいればと……。

百瀬――はい、雑誌購読会員を含めていくつか。今日は千葉中嶋――学会なんかにも入っていらっしゃいます?

歴史学会近代史部会で発表してきたんです。

自分のテーマを深め、ひろげることが出来ますね。よって評価され、発表の場がふえればそれが刺戟になって、記者――そうした専門の分野で、学歴や肩書でなく、内容に

丘陵の秋(表紙絵にそえて)

斎藤長三

の紅葉など趣きが深い。今月は奥武蔵の丘陵を絵にした。もつと広く型にはまらず探して見たいものだ。無名の雑木山朱と派手な色彩を秋の空の下で観賞するのであるが、秋色は朱と派手な色彩を秋の空の下で観賞するのであるが、秋色は

中嶋――そうですね、日本もだんだんそうなってきています中嶋――そうですね、日本もだんだんそうなってきていますな。肩書より書いたものが勝負だと。徐々にですが大学の講座も社会人に開放するところがふえてきましたね。座も社会人に開放するところがふえてきましたね。座も社会人に開放するところがふえてきましたね。座も社会人に開放するところがふえてきましたね。座も社会人に開放するところがふえてきましたね。

中嶋――幅広く多次元的に生きることがこれからはますます中嶋――幅広く多次元的に生きることがこれからはますます。そしてそれは、だれにでもが出来ることだと思います。私達がいろんな世界を持つ、世界が広がるということは、自分の持っている世界だけを絶対化して人にということは、自分の持っている世界を持つ、世界が広がるとれるでしょうか。

婦人之友

